

防災教育の実際

～日田市立五馬中学校～

学校の立地環境と想定される災害

立地環境

- 標高300~500mの高原
- 熊本県との県境
- 温泉のある別荘地
- 四季折々の花々
- フラワーガーデン
- 学校の周りは安全 (ハザードマップ)
- 平成28年熊本地震による被害
- 小さな河川、かんがい用水路
- 通学路に工事(施工)箇所多数



想定される災害

- 地震
- 台風・豪雨

河川の氾濫
土砂災害

過去の災害を
調べてみよう!

ごめんなさい

「毎日、暑いですねえ」があいさつ代わりにになっている今日この頃、地域の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのことと拝察いたします。

今年は大雨が降ったかと思えば、この暑さ。年々暑さが増しているように感じます。どうぞ、ご自愛ください。

さて、只今、五馬中生は夏休みです。「この地域で過去に起こった災害を調べよう！」という宿題を出しています。昔のことをよく知っている方に聞いて、聞いたことをまとめて提出する宿題です。近くの中学生在が、皆様の元へ聞き取りに伺うかもしれません。その時は、どうぞ、よろしくお願いいたします。

「台風19号んときは、〇〇から△△にかけて、杉の木が100本くらい倒れて、それが、道路をふさいで通れなかったわあ。」

「昭和28年の大雨んときは、うちの裏ん田んぼのあぜが崩れて裏庭まで土が入ってきた。脇のいぜがあふれて、道路まで水が流れよった。」

歴史は繰り返す

と言われます。この地で、過去にどのような災害があったのかを知ること、それを防災に役立てることが出来ます。

そのためには、この地域をよく知っている皆様のお力が必要です。是非、ご協力ください。

今回の聞き取りを元に、何らかの形で、地域にも還元できたらと思っています。子どもから年配の方まで、安全に、安心して暮らせる五馬地区になってほしいと願っています。

過去の災害を聞き取る

夏休みの課題

- 祖父母や近所の方に話を聞く
- ファイルにまとめる

五馬地区 **災害ファイル** No.17

原因となった自然現象 (その名前) 九州北部豪雨

発生場所 九州北部豪雨発生場所 (その名前) 長野 小野 農協 園 家 山 公民館 石屋 坂 松原 学校 自販機 (松原石屋)

発生日 平成24年 7月11日から7月14日にかけて

被害の状況

- ・家の浸水
- ・山の上砂崩れ
- ・塩井川の氾濫
- ・(塩井ユル家前) 陥没

その他

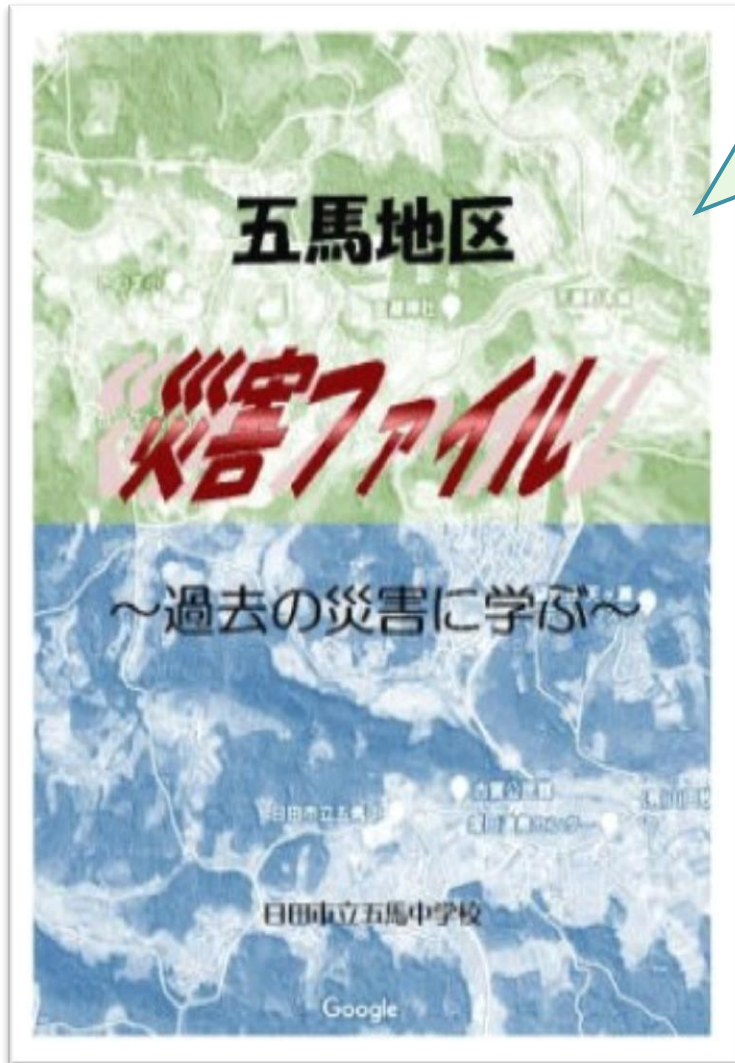
- ・水の濁り
- ・落雷し、水が止まった。(ポンプの故障)

情報提供者: 祖母

調査者: O.S

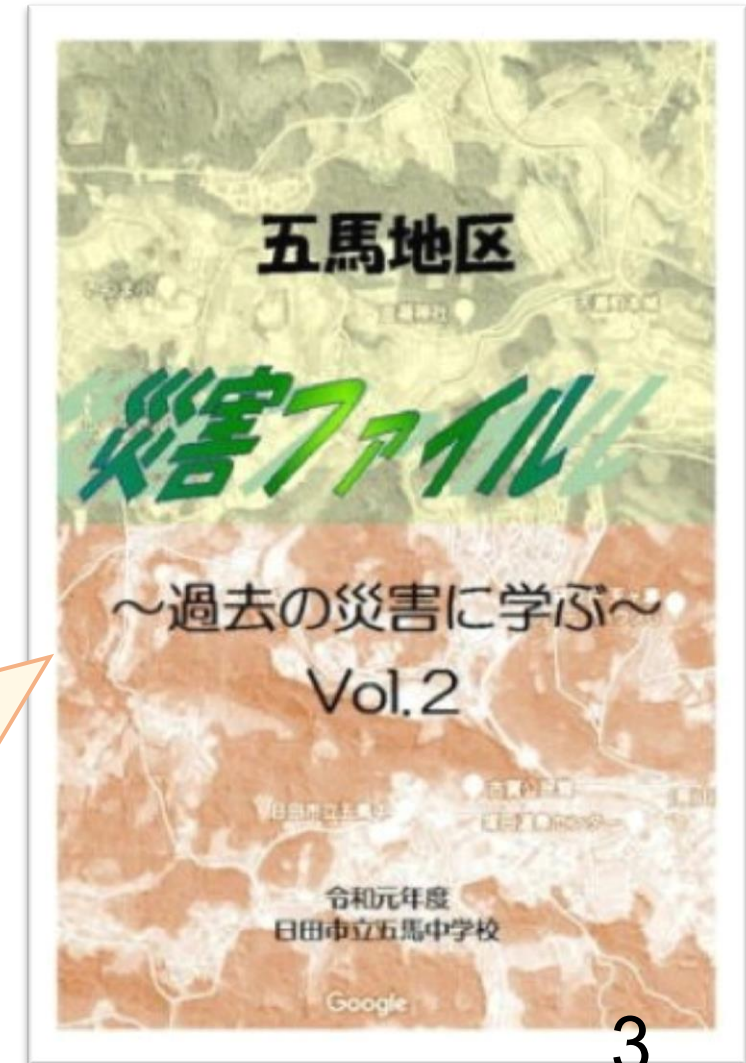
災害ファイル ～過去の災害に学ぶ～

平成30年度



- この地域に大きな被害をもたらした6つの災害の概要と実際の被害を年代順に掲載
- のべ32箇所

令和元年度



- Vol.1と合わせて、地区ごとの年代順に編集
- のべ54箇所

地域の方の反応 1



自治会長

中学生がこんなにがんばってるのだから
みんなにしっかりと見てもらおう。⇒押印

中学生ががんばっているから、
自分たちもがんばらないと!

今までこんなの（災害をまとめたもの）は無く、
知っている人も高齢になっているので、記録
に残してくれたのは有難い。



地域の方



防災フィールドワーク

コンセプト

ふるさと
五馬を愛し、ふるさと
五馬を守れる人へ

【参加者】

- 区長
- 自治会長
- 学校運営協議会委員
- 保護者
- 専門家
 - ・大分大学防災アドバイザー
 - ・大分県教育委員会指導主事
 - ・日田市役所防災危機管理課職員

※森本調査官



防災フィールドワーク

自治会長・学校運営協議会委員



地域へ発信



①早めに避難をしましょう！

- ・増水や破損で通れず逃げ遅れる可能性がある
- ・暗くなってからの避難は危険
- ・避難が遅れたときは、2階以上へ垂直避難を

②避難するときに気を付けてほしいこと！

- ・運動靴で避難。長靴は水が入ると歩けなくなる
- ・大雨時の避難に傘は×。傘は足元の確認に使う
- ・普段から備蓄や避難ルート・避難所の確認を

③こんなところも危険です！

- ・根がむき出しになったり、根っこの曲がった木
 - ・土砂の崩落・岩盤の剥落を防止するアンカーの所や過去の災害後の工事箇所
- 「ここは大丈夫」ではなく「危ないかもしれない」という意識を持つ

④自分で見る・考えることが大切です！

- ・防災の視点を持って、地域を歩いてみませんか

災害ファイル ～五馬を愛し五馬を守る～

令和2年度



Vol.1、2集録の災害箇所

現在の状況 (写真)


<p>五馬地区 災害ファイル No.49</p> <p>原因となった自然現象 (その名前) 台風</p> <p>発生場所 本町の かりさこ橋</p> <p>発生日 2019年 8月 14日</p> <p>被害の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> - 台風 - 川の水が増水した - 水が茶色にごっていた <p>現場の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> - 水にごっていた - 水の量が 増えていた <p>情報提供者: 父 調査者: F・U</p> <p>43</p>	<p>現場の様子 (2020年9月23日時点)</p> <p>(左の写真) 平成4年に新しく造られた橋</p> <p>(右の写真) 7月の豪雨により 氾濫した川</p> <p>現在の状況 (コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 田んぼまで水が - 木の橋が壊された - 平成4年に新しい橋が造られた - 川の水位が増えたら 早めに高木の公園側へ避難 <p>この場所を利用する人へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> - 水はいつ川が氾濫するか予測ができませんが、怖い - 絶対に木の橋ではないけど、壊れる可能性があるがあるので 前もって別の道を通り確保しておくべきだと思います。 <p>44</p>
--	--

この場所を利用する人へのメッセージ


地域の方の反応 2

いただいた手紙

～前略～
「五馬地区災害ファイルVol.3」
を拝見いたしました。「過去の災
害に学ぶ」の時も感動しまし
たが、「防災」という視点から地
域を見つめ直すという取り組
みに拍手を送りたいと思いま
す。ファイルのそれぞれの文
章を見ても、「こういう所があ
る」から、「避難をするため
にはどうすればよいか」とい
う具体的な防災対策になって
おり、厚みの増した分以上に
、中身の濃さを見せてもら
いました。こうしたことを重
視して、NHKも長期間取材
をしたのだと思います。～後
略～



子どもたちが
危ないと言っているのだから
すぐに市役所に
言わないと!



普段、
車で通っていたら
気がつかない。
そういう目で見ることが
大事だとわかった。

年	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キャリア教育	1			・福祉についての学習「地域の民生委員さんから地域の福祉状況の話を聞こう！」	福祉体験学習	職場見学	「おとな先生」				
	2				福祉体験						
	3			・「おとな先生」(HANAQ)	福祉体験						
ふるさと学習	1			天瀬町一斉避難訓練・防災デー(オーブンスクール)							
	2	防災フィールドワーク(遠足)		ハザードマップ作り		レポートとハザードマップの発表準備(地区ごと)		地域へ発信(文化祭)		OTAふるさと学習交流会(別府ビーコンプラザ)	
	3		レポート作成				「生徒地域防災会議(仮)」(オーブンスクール) ・レポートとハザードマップの発表 ・生徒と保護者・地域の方との意見交換				
平和	全校				平和集会(講師の派遣) 公民館						

「生徒地域防災会議(仮)」

- ・レポート、独自のハザードマップの発表
- ・生徒と保護者・地域の方との意見交換

「生徒地域防災会議(仮)」(オーブンスクール)
・レポートとハザードマップの発表
・生徒と保護者・地域の方との意見交換

防災教育コーディネーター

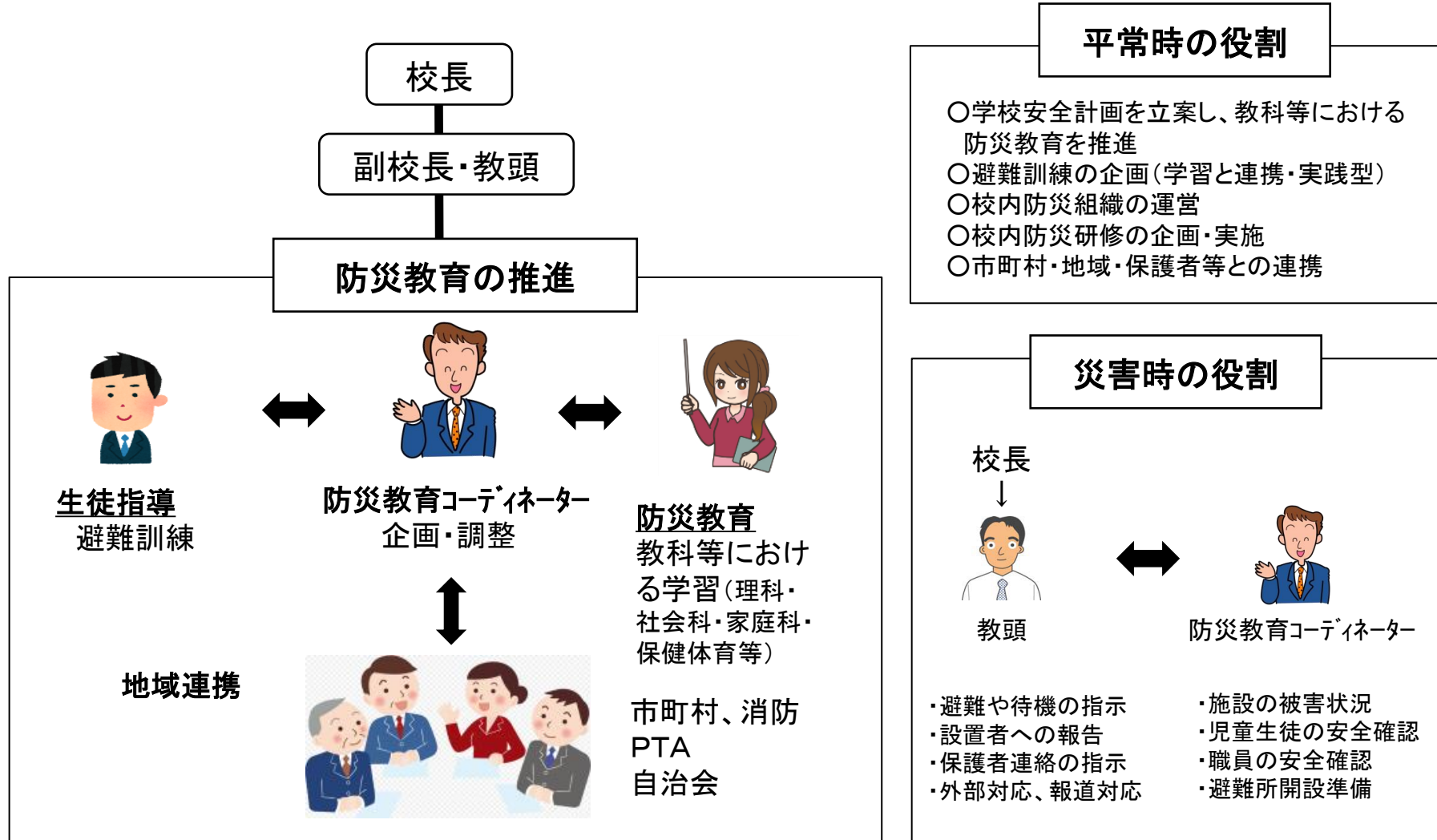
平成三〇年度～県立学校

2市町村モデル地域

令和元年度～全市町村立学校

防災教育コーディネーターの役割

- 目的
- ①校務分掌に明確に位置づけ、防災教育・地域連携をコーディネート
 - ②教務や生徒指導など関係分掌をつなぎ、一体的に防災教育を推進する
 - ③災害時は校長・教頭を補佐し、情報収集や避難所準備にあたる。



学校待機・引渡しマニュアル

令和2年度 日田市立五馬中学校

○学校安全計画の立案
 ○各教科等における防災教育の推進
 ○避難訓練の企画(学習と連携・実践型)
 ○市町村・地域・保護者等との連携
 ※マニュアルの更新←

(令和2年6月改定)

1 学校待機・引渡しの目的

災害・事件事故発生時に、生徒の安全を確保し、保護者等へ確実に引き渡す

2 学校待機・引渡しの基準

(1)学校待機 ①スクールバスが運行不能 ②通学路(生徒・引き取り人)の安全が確保されない
 (2)引渡し ①スクールバスが運行不能 ②通学路(児童・引き取り人)の安全が確保されている

対応フロー	本部長(校長)	副本部長(教頭)	学級担任	学年主任・副担任	養護教諭	連絡員	(図書館員)	物品等 <small>職員室前入口の扉裏に保管</small>	
情報収集	◇情報収集	◇情報収集							
引渡し決定	◇小学校長と協議 ◇引渡し決定	◇協議							
職員集合		◇職員集合を指示 ◇職員への周知	◇職員室へ集合 (授業中)生徒に自習の指示 (休み時間)教室に戻って静に待つように指示(放送) ◇校長を中心に配置の人数調整と確認	◇職員室へ集合	◇職員室へ集合 ◇物品の準備 ◇避難経路確保の備に於ける ※トランシーバーに電池を入れる	◇職員室へ集合	◇職員室へ集合	◇避難に入っているもの ◇避難シート・避難用・ポールポ シート・トランシーバー(台)・電池・ チェック表	
連絡・指示・報告	◇市教委へ報告	◇保護者へ連絡 ・学校配信メール *1 連絡内容	◇生徒に連絡 ・引渡し一斉下校	※担任不在の場合は、担 任の仕事をする	◇体育館の準備 ・夏場:送風機 ・冬場:ジェットヒーター ストーブ ※新型コロナウイルス対策として、ジ ェントマットを2m間隔で設置 ※ブルーシートの設置	◇体育館の準備 ・夏場:送風機 ・冬場:ジェットヒーター ストーブ ※新型コロナウイルス対策として、ジ ェントマットを2m間隔で設置 ※ブルーシートの設置	◇体育館の準備 ・夏場:送風機 ・冬場:ジェットヒーター ストーブ ※新型コロナウイルス対策として、ジ ェントマットを2m間隔で設置 ※ブルーシートの設置	送風機 ジェットヒーター ストーブ ジョイントマット (男子更衣室) ブルーシート (1F南棟倉庫)	
引渡し準備	◇全体掌握	◇道路(校門前)待機	◇体育館への移動指示 (生徒) ・保健室前渡り廊下から、靴と傘 を持って体育館入場 ・入場後、体育館前方右側に設 置したブルーシートに靴と傘を置 く	◇引渡し場所(体育館前 駐車場)待機(学年主任) ・相談室で照合する人が、 各学年の「引渡しカード」 ファイル持参 ◇体育館待機(副担任) ・生徒掌握 ・職員間連絡	◇体育館の準備 ・夏場:送風機 ・冬場:ジェットヒーター ※スイッチオン ※体育館前方右側のド アを開ける	◇電話の対応	◇職員間連絡	全乗取りで担当する職員は、押 し出しチャックの扉にサイン ◇駐車場へ→ トランシーバー2台 ◇玄関へ→ トランシーバー1台 ◇図書室へ→ トランシーバー1台 ◇保健室へ→ トランシーバー1台 ◇引渡し記録用トランシーバー 1台 ◇避難経路へ→ 引渡しカード(学年別) トランシーバー1台 カッター(50センチ) 黒靴 黒軍刀(1本)	
引渡し	◇全体掌握	◇車両誘導 ※一方通行 *2 地図 ※誘導灯(棒)	◇生徒掌握 ・トランシーバーで、引き取りに 来た生徒名を受ける(2名、1台) ・引渡し記録の作成(1名) (引き取り人、引渡し時刻、帰宅 場所) (生徒) ・すぐに出られるように準備し、呼 び出しがあるまで静かに待つ ・随時体育館から残りの生徒の人 数をトランシーバーで報告する	◇引き取り人の確認 ・「引渡しカード」の引き取 り人と照合(トランシー バー) ※相談室2名(1台) ・帰宅場所の確認→担任 へ連絡(トランシーバー) ※駐車場係2名(2台) ※校門(教頭:1台)	◇健康管理 ・待機中の生徒の健康 観察 ・体調不良への対応 ・応急処置 ・心のケア ※待機場所の環境把 握・改善(換気等)	◇電話の対応	◇職員間連絡		
引渡しの状況確認	◇全体掌握	◇職員への周知	◇引渡し開始から1時間経過をめぐり、職員集合 ※引渡しの経過状況を確認し、その後の対応を検討する						
撤去	◇撤去指示	◇撤去	・残っている生徒の人数確認 ・小会議室へ移動	◇撤去 ・体育館の片付け ・戸締まり ※避難所開設準備の市役所職 員との連携	◇撤去 ・体育館の片付け	◇電話の対応	◇職員間連絡		
職員集合	◇総括 ※今後の職員の対応の指示 ◇引渡し完了確認 ◇市教委へ報告	◇職員集合を指示 ◇職員への周知 ◇引渡し完了確認	◇職員室へ集合 ◇残っている生徒と対応の確認 ※状況に応じて、保護者へ連絡 ◇引渡し完了報告	◇職員室へ集合	◇職員室へ集合	◇職員室へ集合	◇職員室へ集合		

まとめ

☆防災はコミュニティ・スクールの大きな柱
⇒共通の話題（課題）

☆中核となる教員の育成
⇒防災教育の推進、継続

※ 行政の支援

※NHK大分放送局HP

9月23日実施「防災フィールドワーク」

※放送:8分29秒

○5地区ごとに実施…地域の方9名参加

(区長、自治会長、学校運営協議会委員、保護者)

○外部専門家の同行→県学校安全・安心支援課の事業を利用



減災関連ニュース

減災に役立つ情報を動画で公開しています。



“リスクを知り 命を守る” 防災フィールドワーク Part1

災害が多発する中で、地域のリスクを知り、命を守る行動につなげようと「防災フィールドワーク」を行う日田市天瀬町の中学校を取材しました。

(2020年9月30日放送)

11月3日実施 「第34回五馬中文化祭」

※放送:7分44秒

○代表生徒5名の発表

・過去の災害場所の現状

・ハザードマップに載っていない危険箇所

・安全に避難するには

・地域の方への呼びかけ→五馬地区災害ファイルVol.3の作成

・配布



“リスクを知り 命を守る” 防災フィールドワーク Part2

日田市天瀬町の中学校で行われた「防災フィールドワーク」。中学生が見つけた地域の災害リスクを大人たちに向けて発表しました。

(2020年11月13日 放送)